

令和7年度 【自己評価結果シート】

桜井こども園

1.園の教育・保育目標

心身ともにたくましく、よく遊ぶ子どもたちに
けじめのある子どもたちに
意欲のある子どもたちに
素直な気持を表現できる子どもたちに
やさしさと思いやりのある子どもたちに

2.本年度の重点目標

①子ども一人一人の尊重	日常の小さな出来事に目をむけ、一人一人の個性を尊重し、子どもを肯定的に捉え成長を支える
②職員の資質向上	職員一人一人が保育に関する新鮮な内容を発案し、具体的に実践し取組みを伝え合う

評価項目	評価		改善策
	いる	いない	
1.教育・保育の計画			
・園の基本理念・基本方針・目標を理解している。	22	0	—
・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、理念・目標を踏まえた全体的な計画に沿って長期・短期の指導計画を作成している。	21	1	
・乳幼児の発達や事態に即したねらいや内容を設定し、3歳未満は個別の計画を作成している。 ※PDCA(計画・実践・評価・改善)サイクルを用いて、質の向上・改善に努めている。	21	1	
2.保育内容			
・子どもに分かりやすい温かな言葉遣いで、穏やかに話すよう心掛けている。	22	0	—
・子どもの名前は、呼び捨てにせず「ちゃん」「くん」で呼んでいる。	22	0	
・「はやく」「ダメ」等、制止や禁止の言葉を不用意に使わないよう努めている。	22	0	
・子どもの目線に立ち、気持ちやおもいを大切にしながら対応している。	22	0	
・1人ひとりの発達の連続性や生活の連続性に考慮して生活リズムを整え、見通しをもった保育に努めている。	22	0	
・身近な自然や地域、社会と関わられるような取組みをしている。	22	0	
・子どもが意欲的に取り組める環境を用意したり、言葉をかけている。	22	0	
・遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。 (例・社会的ルール・遊びのルール・当番活動・異年齢の交流など)			
3.保健管理			
・登園時や日常の健康観察、身体測定、健康診断を実地している。	22	0	—
・「健康・安全や発達の確保」を図るための学校保健計画(学校保健計画・学校安全計画)を策定し、計画に基づいて生活安全指導・避難訓練・交通安全指導を実地している。	22	0	
・乳幼児の病気やケガ・疾病予防等の情報提供を行っている。	22	0	
4.安全管理			
・事故予防・感染症予防・避難訓練・自然災害等に対応出来る危機管理マニュアルがあり、訓練や園内研修の中で活用している。	22	0	—
・安全点検(園内・保育室・遊具・ヒヤリハット)を実施し、会議を通して結果や改善点を職員が共有している。	22	0	
・緊急連絡カードの作成・一斉配信メールの登録・関係機関との連携体制を表示にするなど緊急事態発生時への取組みを行っている。	22	0	

評価項目	評価		改善策
	いる	いない	
5.食育			
・子どもが落ち着いて食事を楽しめるような工夫をしている。	22	0	—
・専門医から指示があった場合、アレルギー疾患をもつ子の状況に応じ、適切な対応を行っている。	22	0	
・給食会議の中で意見を交換し合い、連携して食育活動に取り組んでいる。	22	0	
6.特別支援教育			
・特別支援教育担当者を決め、家庭・地域社会・関係機関との連携を図っている。	22	0	—
・ケース会議のなかで問題意識の共有、連絡事項の確認を行っている。	22	0	
7.組織運営			
・職務分担表を配布して、各係りの担当、職務の役割分担を明確化し、管理責任体制の整備をはかり、職員間における「報告・連絡・相談・確認」の連絡・連携体制が整っている。17	22	0	—
・協力体制の重要性を認識し、上司の指示・指導・同僚の助言に耳を傾け、素直に聞き入れ決定事項・規則・手続き等を守ることができる。	22	0	
・各種文章や個人情報(パソコン・USB含む)を適切に管理し守秘義務の厳守・情報の取扱方針を周知徹底している。	22	0	
・時間を厳守し、健康管理にも気を配り、職務に積極的に取り組むことができる。	22	0	
8.研修(資質向上への取り組み)			
・キャリアアップ・更新講習・その他の研修に参加できる勤務体制をつくり、職員に適切な研修機会を確保している。	22	0	—
・保育研究に継続的に取り組み、研修・講習会の内容は園内研修を通して還元している。	22	0	
・園内研修や自己評価を定期的に行い、資質向上に努めている。	22	0	
9.情報提供			
・園に関する様々な情報を、園便り・保育参観・行事等を通して伝えている。	22	0	—
・ホームページを活用し、広く周知するための工夫をしている。	22	0	
・園の外掲示板等で、地域の人にも情報を発信している。	22	0	
10.子育て支援(地域・社会との連携)			
・様々な機会を通して、子どもの様子や出来事を伝え合い保護者との相互理解を図っている。	22	0	—
・中高生の保育体験・実習・ボランティアの受け入れにあたり、受け入れの意義や方針を理解している。	22	0	
・認定こども園として子育て支援が必須であることを理解している。	22	0	
11.環境整備			
・健康・安全かつ快適に生活できるよう、清潔感のある環境の維持に努めている。また、日常的に点検改善を行っている。	22	0	—
・絵本・教材・用具・用品を適切に活用し、点検整備している。	22	0	
・保育者は、人的環境であることを理解し(爪を短く切る・髪型・髪色・髪が顔にかからないようきちんと結ぶなど)清潔感のある身だしなみを心がけている。	22	0	

施設関係者評価委員会の意見（評議委員・理事）

- ・自己評価が向上している
- ・引き続きの向上を目指し、教育保育の見直しや改善に努めてほしい

施設関係者評価

法人理念・保育方針、教育・保育への思いに関して参考になったところ、取り入れたいところがありましたらお答えください。

- ・地域との関わり
- ・共育ち共育てという、皆と一緒に保育をしていく関係性が素敵だと思いました。
- ・主体性を大切にされた保育
- ・地域との共育で共育ち 地域との関わりがあることがとても新鮮でした。保護者から職員になって畑などの整備をするという話がとても印象に残っています。
- ・主体性 子どもによって食事をしている子や遊んでいる子がいるのは理想だなと思いました。
- ・保育者が楽しんで保育しているところ 主体性 職員室で休憩したいと思った
- ・主体性を大切にしている部分が素敵でした
- ・その年の子どもたち、学年に合った保育、環境構成をされていて、先生たちみんなが話し合っていて考えているんだなあと思いました。どうやったらみんながそういう気持ちになるのかな、すごいなと思いました。

子どもへのかかわりや取り組みに関して参考になったところ、取り入れたいところがありましたらお答えください。

- ・作品展においてそのクラスで流行っているものを取り入れる所
- ・少人数での丁寧な関わりというのが、意識しつつも難しいので今後も頑張りたいと思いました。
- ・子どもたちの想像力などを伸ばす声掛けを取り入れたいです。
- ・遊びの種類を充実させる。子どものやりたいことをやる。
- ・子どもたちが興味のあることから作品展など遊びに広げていっているのが良いと思いました。

職員の職場環境について、参考になったところ、取り入れたいところがありましたらお答えください。

- ・職員室の環境
- ・休憩室や研修室があり、そのことに集中できるのがいいです。
- ・休憩の仕方や事務作業などの進め方など参考になりました。
- ・休憩室のドリンクが充実している。
- ・すぐ働きやすそうな環境で羨ましいと思いました。楽しく働けそうだなと思いました。
- ・保育観を持っている所から自信が感じられ、職員が主体性を持って仕事できる環境なんだと感じました。・休憩時間やスペースを設けることで職員同士の連携がうまく図ることができていると感じました。
- ・休憩時間やスペースを設けることで職員同士の連携がうまく図ることができていると感じました。

今回の施設見学研修全体の感想や、今後の認定こども園部研修で取り組んでほしいところがありましたらお答えください。

- ・他の園の様子を知る機会
- ・他の園の取り組みや保育を実際に見られるのが勉強になります。ありがとうございました。
- ・子どもたちが伸び伸びと過ごせる園の環境構成がとても素敵だなと思いました。
- ・今日はありがとうございました。初めての園見学で自分の園とは違うところが沢山あってとねも学びになりました。そして今働いている園のいい所にも気付くことができました。今働くことが出来ていることにしっかりと感謝してきたいと思います。
- ・園舎も細かく説明しながら紹介していただき、参考にできそうなことは取り入れていけたらいいなと思いました。

その他、他園での取り組み、参考になること

- ・園児自身で遊びを選べるように手が届く場所に玩具を置いている。
- ・玩具はたくさん用意し、発達段階や園児の興味によって環境を変えている。
- ・かみつきやトラブルを防ぐために、遊びの種類やスペースを制限したりするのではなく、とにかく玩具の数を増やし、それぞれが自分の遊びに集中できるようにしている。